

上野遊水地事業(淀川水系木津川)

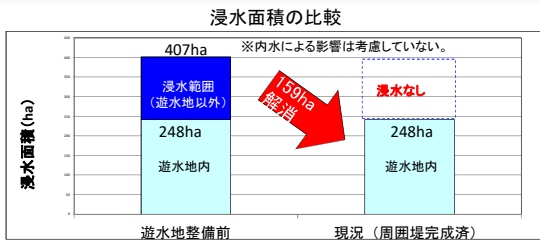
10月23日 AM7:30頃 新居遊水地

忍者のまちの浸水被害を軽減！ ～運用開始以降、初の整備効果発揮～

平成27年6月の運用開始後、初めて遊水地の効果を発揮

- ✓ 遊水地整備による浸水被害軽減効果もあり、近年遊水地周辺で世帯数が増加。
- ✓ 平成29年台風21号洪水では、木津川及び服部川の4つの遊水地に越流し、約600万m³を貯留。
- ✓ 遊水地の整備により上野地区において約160haの浸水面積、約760戸の浸水戸数の被害を解消できたと推定。

遊水地整備による浸水被害軽減効果



【整備効果】

- ①工場や商業施設が多数進出
- ②遊水地周辺で世帯数が増加
- ③広域幹線道路の交通機能確保

遊水地周辺世帯数の推移

